



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月8日

上場会社名 株式会社JMS

上場取引所 東

コード番号 7702 URL <http://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長

(氏名) 遠藤 正樹

TEL 082-243-5844

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	42,749	△1.8	1,673	11.8	1,565	△9.0	1,427	21.3
2020年3月期第3四半期	43,552	△1.6	1,497	8.9	1,720	21.3	1,176	20.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,725百万円 (91.7%) 2020年3月期第3四半期 900百万円 (56.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	58.47	—
2020年3月期第3四半期	48.26	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	67,949	33,804	49.5
2020年3月期	66,567	32,470	48.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 33,662百万円 2020年3月期 32,336百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
2021年3月期	—	8.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	1.6	2,000	△13.6	2,200	△17.7	1,600	△19.1	65.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	24,733,466 株	2020年3月期	24,733,466 株
2021年3月期3Q	312,827 株	2020年3月期	348,867 株
2021年3月期3Q	24,404,035 株	2020年3月期3Q	24,381,180 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「かけがえない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めております。事業活動としましては、ホスピタルプロダクツ ビジネスユニットでは輸液・栄養領域を、サージカル&セラピー ビジネスユニットでは透析領域及び外科治療領域を、ブラッドマネジメント&セルセラピー ビジネスユニットでは血液・細胞領域を中心にそれぞれ事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外で販売は伸びたものの為替により円貨換算額が減少したほか、国内の減少もあり、前年同四半期に比べ8億3百万円減少の427億49百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。利益につきましては、減収影響や開発費の増加はあるものの、販売費の減少により営業利益は16億73百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。また、為替差損の増加により、経常利益は15億65百万円（前年同四半期比9.0%減）となり、特別利益での補助金収入や法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億27百万円（前年同四半期比21.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (日本)

中国向けの血液透析装置の販売や薬剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」の販売が増加したものの、輸液セットの販売が減少したため、売上高は301億42百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。また、セグメント利益については、販売費が減少したものの、減収影響や開発費の増加により6億41百万円（前年同四半期比10.2%減）となりました。

## (シンガポール)

東アジア向けの血液バッグの販売が増加したものの、円貨換算額の減少により売上高は151億80百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。また、セグメント利益については、労務費の増加に加え、為替差損の計上により6億33百万円（前年同四半期比40.3%減）となりました。

## (中国)

日本向けの血液浄化回路の販売が増加したため、売上高は22億26百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。また、セグメント利益については、新製品追加に伴う増収増益効果により2億49百万円（前年同四半期比375.6%増）となりました。

## (フィリピン)

北米向けの成分献血用回路の販売が増加したため、売上高は21億43百万円（前年同四半期比9.5%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果により前年同四半期に比べ1億3百万円改善の77百万円の黒字となりました。

## (ドイツ)

AVF針（血液透析用針）の販売が増加したものの、円貨換算額の減少により売上高は22億93百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。また、セグメント利益については、為替差損の計上により1億59百万円（前年同四半期比9.2%減）となりました。

## (その他)

売上高は29億21百万円（前年同四半期比23.5%減）、セグメント利益は87百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億82百万円増加の679億49百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ16億3百万円増加の386億91百万円となりました。この主な要因は、商品及び製品が増加したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億21百万円減少の292億57百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が減少したためであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億34百万円減少の216億60百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億82百万円増加の124億84百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ13億34百万円増加の338億4百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したためであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9ポイント上昇の49.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営環境には依然として不透明さが残るため、現時点におきましては、2021年3月期通期の連結業績予想について、2020年5月22日公表時から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,765	6,102
受取手形及び売掛金	15,683	16,125
有価証券	254	254
商品及び製品	7,735	8,688
仕掛品	2,787	2,830
原材料及び貯蔵品	3,928	3,921
その他	962	797
貸倒引当金	△29	△29
流動資産合計	37,088	38,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,358	8,193
機械装置及び運搬具（純額）	7,807	7,354
その他（純額）	7,805	7,902
有形固定資産合計	23,970	23,450
無形固定資産	538	589
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,980	5,228
貸倒引当金	△10	△11
投資その他の資産合計	4,969	5,217
固定資産合計	29,479	29,257
資産合計	66,567	67,949

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,446	7,641
短期借入金	4,189	4,500
1年内返済予定の長期借入金	3,402	4,043
未払法人税等	571	302
賞与引当金	1,060	612
その他	4,224	4,560
流動負債合計	21,895	21,660
固定負債		
長期借入金	9,986	10,327
役員退職慰労引当金	116	117
退職給付に係る負債	731	807
資産除去債務	134	139
その他	1,232	1,092
固定負債合計	12,201	12,484
負債合計	34,096	34,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,362	10,362
利益剰余金	15,932	16,932
自己株式	△270	△242
株主資本合計	33,435	34,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	203	335
為替換算調整勘定	△1,302	△1,136
その他の包括利益累計額合計	△1,098	△801
非支配株主持分	133	142
純資産合計	32,470	33,804
負債純資産合計	66,567	67,949

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	43,552	42,749
売上原価	31,978	31,428
売上総利益	11,574	11,321
販売費及び一般管理費	10,077	9,648
営業利益	1,497	1,673
営業外収益		
受取利息	13	8
受取配当金	42	43
持分法による投資利益	236	182
その他	168	86
営業外収益合計	460	321
営業外費用		
支払利息	147	133
為替差損	66	256
その他	22	39
営業外費用合計	236	429
経常利益	1,720	1,565
特別利益		
固定資産売却益	69	2
投資有価証券売却益	—	1
補助金収入	—	305
特別利益合計	69	309
特別損失		
固定資産売却損	2	1
固定資産廃棄損	16	8
投資有価証券評価損	65	—
役員退職慰労金	41	—
特別損失合計	124	10
税金等調整前四半期純利益	1,665	1,864
法人税、住民税及び事業税	407	338
法人税等調整額	75	98
法人税等合計	483	437
四半期純利益	1,182	1,427
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,176	1,427



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,182	1,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106	131
為替換算調整勘定	△388	165
その他の包括利益合計	△282	297
四半期包括利益	900	1,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	898	1,715
非支配株主に係る四半期包括利益	1	9

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	日本	シンガ ポール (注)1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	28,402	7,928	1,086	2	2,315	39,736	3,816	43,552
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,519	7,313	974	1,955	0	12,763	—	12,763
計	30,921	15,242	2,060	1,957	2,316	52,499	3,816	56,316
セグメント利益又は損失(△)	715	1,062	52	△26	176	1,979	87	2,066

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,979
「その他」の区分の利益又は損失(△)	87
セグメント間取引消去	△565
持分法投資利益又は損失(△)	235
その他の調整額	△15
四半期連結損益計算書の経常利益	1,720

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	日本	シンガ ポール (注)1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	28,159	8,312	1,063	12	2,280	39,828	2,921	42,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,982	6,868	1,162	2,130	12	12,156	—	12,156
計	30,142	15,180	2,226	2,143	2,293	51,985	2,921	54,906
セグメント利益又は損失(△)	641	633	249	77	159	1,762	87	1,850

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,762
「その他」の区分の利益又は損失(△)	87
セグメント間取引消去	△467
持分法投資利益又は損失(△)	182
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の経常利益	1,565